

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	厚木精華園		
所在地	厚木市上荻野4835-1		
サイトURL	http://www.kyoudoukai.jp		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H18.4.1~H28.3.31	施設所管課	障害サービス課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p><管理運営等の状況> 介護の重度化のため職員の増員を図った。医療的ケアについては喀痰吸引の認定証取得のため研修も継続的に実施している。高齢知的障害者支援の実績から関係機関、施設等からの見学依頼(31団体、421名)があった。また、高齢者支援セミナーも毎月開催し、外部団体からも多数参加しており、県立福祉施設としての役割を十分果たしていると評価できる。</p> <p><利用状況> 高齢化、医療的ケアの必要性から特別養護老人ホームや療養型病院への移行が増加傾向であるが、前年度よりも利用者数は増加している。</p> <p><利用者の満足度> オンブズマン相談会を年1回開催し、利用者や家族からの要望等を受け付け、情報共有と対応を行った。</p> <p><収支状況> 収支のバランスは良好である。</p> <p><苦情・要望等> 報告件数は21件、苦情や要望一つひとつを真摯に受け止め、支援に活かしている。</p> <p><事故・不祥事等> 利用者の高齢化に伴い、骨折や怪我のリスクが高まっている。生活環境を毎月点検し、事故の未然防止にも努めている。</p> <p><今後の方針等> 引き続き、高齢知的障害者支援のノウハウの普及啓発、グループホーム等への地域移行を積極的に進め、県立福祉施設としての役割を担ってほしい。</p>
S：極めて良好な管理運営状況 A：良好な管理運営状況 B：一部改善が必要な管理運営状況 C：抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
随時モニタリング 指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
高齢知的障害者に対する医療的ケアの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体機能の低下、嚥下機能の低下に伴い12名の医療的ケアが必要な利用者に対しての研修を異動、新採用職員に対して当園の指導看護師が実地研修を実施し資格取得者62名の実績。 ・園内医療的ケア研修として、月1回AED等を活用した利用者急変時対応訓練、ノロウイルス対応訓練等を実施。 	
高齢知的障害者の支援に関して、研究活動を行い積極的に情報の発信に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援セミナーを毎月開催、51団体の登録、396名参加。 ・見学者は、31団体、412名受入れ。 ・外部発表12回、福祉タイムズ等に取組みが掲載。 ・福祉機器導入に向けてのデモ機等を導入。 ・実践報告集作成・配布 	
本人が望む豊かな暮らしと人権擁護の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自治会を毎月開催し希望を取り入れた衣類の訪問出張販売会等を実施。 ・虐待防止委員会を毎月開催し人権擁護に努め、非常勤研修を2回、9月に外部講師による研修を実施。 ・毎月オンブズマン相談会を実施し要望を聞き取るように努める。 	
高齢知的障害者の地域生活を支える。	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用計画、モニタリングを随時実施し年間34件の計画書を作成。 ・地域清掃に積極的に参加。 ・近隣施設のグループホーム世話人を対象とした人権擁護研修を1回開催。 	
在宅障害者の地域生活を支え地域との連携強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害者短期入所事業は177名受入れ。 ・応急手当普及員を外部に6回派遣。 ・あつぎ防災訓練、要援護者福祉避難所の受入れ訓練を実施。 ・地域交流支援事業は、コンサート3回、地域レクレーションを2回、ボランティア懇談会を1回開催。 	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	<評価の目安>目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	35,632	34,563	35,163	37,171
対前年度比			101.7%	105.7%
目標値	[目標値設定根拠]			
目標達成率				

[参考：最大利用可能人数]

	施設入所	短期利用	生活介護		合計
定員	110	2	140		
年間利用可能日数	365	365	365		
最大人数※1	40,150	730	51,100	0	91,980
稼働率	%	%	%	%	%

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

(指定期間前の状況は管理委託です。)

6. 利用者の満足度

評価	<評価の目安> 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※重度の知的障害のため、4段階評価による満足度の評価は困難である。
—	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	利用者自治会の定期的開催	毎月、利用者相談会とオンブズマン相談会を開催し、利用者、家族より意見の聞き取りを行った。

実施した調査の配付方法 _____ 回収数/配付数 _____ / _____ = _____

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数						
回答率						
前年度の回答数						
回答率の対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	<<評価の目安>> 収入合計/支出合計の比率が S(優良):105%以上 A(良好):100%~105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である):85%~100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている):85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営/管理委託 /指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
[参考] 年度計画	699,241	741,349	771,134	815,160	その他収入は、「経常経費寄附金収入」、「雑収入」、「施設整備等寄附金収入」等
指定管理料	252,501	229,158	229,957	232,629	
利用料	410,510	533,696	556,925	621,140	
その他収入	11,425	21,429	109,278	10,635	
合計	674,436	784,283	896,160	864,404	
対前年度比		116.3%	114.3%	96.5%	
対 計画比	96.5%	105.8%	116.2%	106.0%	
(2) 支出					
[参考] 年度計画	693,396	715,452	732,260	783,102	
支出額	651,773	760,570	948,579	838,081	
(内 納付金)	0	0	0	0	
対前年度比		116.7%	124.7%	88.4%	
対 計画比	94.0%	106.3%	129.5%	107.0%	
(3) 収支					
[参考] 年度計画	5,845	25,897	38,874	32,058	
収支差額	22,663	23,713	-52,419	26,323	
対前年度比		104.6%	-	-	
収入合計/支出合計の比率	103.5%	103.1%	94.5%	103.1%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管修繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
平成26年11月	1,188	非常用発電機修繕(1,188千円)、
平成26年12月	65	地下タンク通気管塗装(65千円)、
平成27年1月	3,931	給湯設備設置(3,931千円)
平成27年2月	6,386	居住棟トイレ床改修(1,944千円)、浄化槽活性炭吸着塔塗装(2,268千円)、ポンプ室ポンプ交換(284千円)、冷温水ポンプオーバーホール(1,890千円)
平成27年3月	6,696	管理棟自動ドア修繕(2,700千円)、管理棟周辺地盤沈下補修(3,996千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： _____ 円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出	422	浴槽防滑2箇所
	993	トイレ手すり設置2箇所
	399	パーテーション
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	対面 5件	利用者の食事形態が変更になった理由を家族だけでなく後見人にも連絡して欲しい。	体調を崩し医師の指示で食事形態が変更になり家族には伝えたことを報告し、最近の体調面のことをお伝えし謝罪して了解を頂いた。
	電話 1件		
事業内容	件		
	件		
その他	対面 4件	地域の祭典行事の際に氏子と代表者の祭典であり、園からは1名出席の所、利用者さんも含めて複数参加してしまい自治会長より説明を求められる。	園として連絡不足で出席したことを謝罪し次年度より代表者のみの出席で了解を頂く。
	電話 2件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
4月21日	夜間、トイレで転倒し整形外科に通院、検査の結果、左大腿骨頸部骨折で手術を行う。	サンダルを履き歩行器で歩行しているがサンダルで躓いてしまった。	①履物の変更と夜間帯に居室から職員が気が付くような音のでるシステムの検討と設置を行う。
7月15日	夕方所在不明確認、警察に保護願ひ、その後無事に保護される。	園外に出てしまう。	①定時での所在確認の徹底、見守り支援の強化、園内外の危険個所の確認、GPS携帯の所持、防犯カメラの設置を検討する。
11月7日	腰痛の訴え有、整形外科に通院、検査の結果、腰椎L2.3圧迫骨折の診断。	移乗支援を2名で行っていたが年齢により負担がかかり骨折した可能性があるという医師から説明がある。	①移乗用のリフターの導入、現状に合った車椅子の作成を検討する。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。